



・会長 山田 直樹 ・幹事 仲澤 昌容 ・クラブ会報 桜井 雅博
 ・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail: jimu@owariasahi-rc.org URL: http://www.owariasahi-rc.org

本日 第2212回 2016年9月9日(金) No. 2097

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング「君が代」・「奉仕の理想」

卓話担当者:広報委員会

卓話者:国際ロータリー 2760地区

公共イメージ向上委員会

委員長 竜橋 美久 君(名古屋中RC)

演題:「ワールドフード+ふれ愛フェスタについて」

前 回 第2211回 2016年8月30日(火) 記 録

○斉唱:「君が代」・「奉仕の理想」

○ゲスト:国際ロータリー 第2760地区

ガバナー 服部 良男君

地区幹事 岩月 一郎君

地区事務長 加藤 博巳君

出席者:会員 21名中 16名出席 出席率 76.19%

前々回補正出席率 8月19日分 95.23%



4 RC 合同でガバナー

と会長・幹事会

於サンプラザシズンズ



会長あいさつ

瀬戸北ロータリークラブ 会長 須崎 佑三



皆さんこんにちは。本日は瀬戸 RC、尾張旭 RC、愛知長久手 RC、私ども瀬戸北 RC の 4RC 合同例会です。本日のガバナー公式訪問のホストクラブを瀬戸北 RC が務めさせて頂くということで私が代表会長挨拶をさせていただきます。

つい数日前に台風 10 号が近づくということで今日のガバナー公式訪問を延期せざるおえないかと心配しておりましたが、東北の方に抜けていきましたので今日のガバナー公式訪問 4RC 合同例会ができたこと、ほっとしております。挨拶の前に前年度、瀬戸 RC から輩出されました加藤陽一ガバナー、この一年大変お疲れ様でございました。また瀬戸 RC の皆さんも大変お疲れ様でした。次は WFF の方で実行委員長をやられるということですのでまた宜しくお願いします。先程

基本的教育と識字率向上

	9月17日(土)	9月23日(金)	9月30日(金)	10月8日(土)
例	月見例会 (9/16 振替)	卓話担当者:江尻 豪君	卓話担当者:プログラム委員会	尾張旭市民祭協賛
会		卓話者: "	卓話者:元中日本自動車短期	苗木配布
予	於良福寺 書院	演題:「 未定 」	大学モータースポーツエンジニアリング	(10/7 振替)
定	18:00 点鐘		学科 スーパーハイパー	於スカイワードあさひ
			山本 満雄様	イベント広場南
			演題:「 未定 」	

この例会前に服部ガバナーを囲み懇談会を行い、色々ご指導を頂きまして、ありがとうございました。今度の11月6日の地区大会は東尾張分区の小牧 RC さんがホストクラブですので4 RC 全員登録でお伺いしますのでその節は宜しくお願ひしたいと思います。服部ガバナーが掲げられております「真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう」を地区のテーマにされていますが、当クラブも以前に比べますと会員数が大変減少しておりますのでロータリアンを見つけようということで何とか60名以上確保していけるよう、頑張りたいと思います。瀬戸北 RC は2日前の日曜日に社会奉仕事業の一環として、災害救援備品を前年度寄贈しましたが、本年度も継続事業をしようということで瀬戸市社会福祉協議会に、地区の補助金を頂いて運搬用の軽トラックを寄贈させて頂きました。また同時に汗をかく、一緒に活動するという事で地域の子供さんを対象にした防災講座を開きました。防災の知識や技を学べる・水消火器で的当てゲーム・毛布で担架トライアル・持ち出し品などにクイズ・紙食器づくり・防災人形劇・カエルキャラバン等体験して頂きました。これからも社会奉仕事業を進めて行きたいと思いますのでご指導の方宜しくお願ひします。この後服部ガバナーには卓話でまたお世話になりますが、お願ひ致します。これで会長挨拶とさせて頂きます。ありがとうございました。

幹事報告

- ・8/27(土)尾張旭市たのしい夏まつりセレモニー
於尾張旭市城山野球場内 仲澤幹事 出席
- ・8/27~28 伊那 RC・尾張旭 RC 交流納涼例会及び
ゴルフコンペ 於かんてんパパガーデン 西ホール
ゴルフ場：信州伊那国際ゴルフクラブ
山田会長 以下会員8名出席

次回の会合：9/9(金) 第5回理事役員会

於尾張旭市商工会館内 第1会議室 13：40~

ニコボックス

- 服部ガバナー、岩月地区幹事、加藤地区事務長からいただきました。
- 出席者全員からいただきました。

卓 話

「ガバナー公式訪問に因んで」

国際ロータリー 2760 地区 ガバナー 服部 良男



皆さんこんにちは。今回で5回目の公式訪問です。私は岡崎 RC に昭和64年に入会致しました。今回の公式訪問でいろんな所に行かせていただきます。名古屋は

初めてですし、この瀬戸も初めてです。そういう意味ではこういう機会を与えて頂き、皆さんにお会いする楽しみが出来たことに感謝しております。ガバナーの仕事というのは、今年度の RI 会長、RI が今やろうとしていること、ジョン・ジャーム会長が何を考え、何をしようとしているのか、それを地区にどう伝えるか、もう一つは地区の皆さん方とそれぞれのクラブの課題とかを共有して、クラブ活性化のお手伝いをする事が私の仕事だと思っています。

◎RI テーマ「人類に奉仕するロータリー」とは

まず今年度の RI 会長はロータリー歴40年、その多くを財団、ポリオプラスの委員長をされ、ポリオ撲滅活動に貢献された方です。今年度の国際大会はアトランタで開催されます。100年前にちょうどアトランタで財団がスタートしています。100年経ってまたアトランタで国際大会がある、大変アメリカ中が盛り上がっています。是非今日お越しの皆さんも来年6月10日から14日までアトランタでありますので多数ご参加されるようお願いいたします。さて、ROTARY SERVING HUMANITY、人類に奉仕するロータリーという形で、先程申し上げたように財団が設立100周年を迎えるということで、どういうことをしてこれからどこに行くのかを是非皆さんに知って頂き、100周年を皆さんと一緒に祝いをしたいと思っています。そしてポリオ撲滅、来年度ポリオ撲滅が最終章に入ります。一週間前にナイジェリアで発生してしまいましたから少し遅延するかもしれませんが、ポリオ撲滅をしましょうということと、また100周年になりますので各クラブで例会、活動の中で最低一つは財団100周年を祝うことをして頂きませんかということをジョン・ジャーム会長さんは言っていっぱいします。このテーマである SERVING の意味は、ロータリアンは毎日奉仕活動しよう！人に奉仕し続けることがロータリアンだよという意味に繋がっているのじゃないか、彼のスピーチの中では困っている人がいたら、その人を笑顔にしよう！と、それがロータリアンの日々の奉仕活動だよと言っておられます。言い換えれば「人類に奉仕するロータリー」とはロータリアンは困っている人がいたら、背を向けず、自分のできることをする、それが奉仕で、その結果人が笑顔になること、仲間のロータリアンとその奉仕の輪を広げること、それがロータリーだよと彼はロータリーを定義づけていますし、このメッセージの中に入っていると思っております。これは2760地区の10年間の会員の数です。いわゆる右肩下がりで会員数が下がっています。これは当地区だけじゃなくて日本全体を見ますと現在8万8千人ぐらいで、一時は12万人を超えていた時もありました。先進国ではこの10年、15年にみな2割減っています。今は全体で123万人弱です。先進国で増えているのはドイツぐらいで、その理由は女性会員が増えているからです。女性会員が多いクラブは大変楽しいということですし、女性の勧誘も宜しくお願ひしたいと思います。会員が減ってきた時に何をすれば良いかが10年以上前からの RI の問題でした。例えばこれを企業の売り

上げにしますと売り上げがずっと下がり続けた時に何をすれば良いか、マーケティングなどいろいろしますが、多くの企業が、まず企業における価値、ブランドは何であるかを再認識し、自社の強み、ブランドを決める。そしてそれを社員と共有し、3 番目はその強みを商品あるいはサービスを開発して提供する。そして最後にはその商品やサービスをマーケティングをする、これが通常の企業がやらなきゃいけないポジション、戦略です。こういうブランドの強みを国際ロータリーは考えたんです。

◎ロータリーのブランドとは

1 番目は Fellowship(親睦)、2 番目が Integrity(高潔性、倫理性)、ロータリーの DNA であり、まさに四つのテストです。3 番目は多様性、世界 200 カ国を超える国、性別、職業、宗教そしてポール・ハリスがロータリー創設時に言ったロータリーの「多様性と寛容さ」の両方を持たなければならないということ。これがロータリーが世界で奉仕活動ができるとしてもロータリーらしいブランドだと思っています。4 番目は Leadership(リーダーシップ)、ロータリーでのリーダーシップはビジョンを実現できること。Ship とはリーダーを維持するためにロータリー活動を通じてリーダーシップを益々磨いていくことであります。最後に Service(奉仕)、ロータリアン、ロータリーが人々に与えられる唯一の言動や行動、困っている人がいたら一緒に考え、できることをする。そしてその人を笑顔にすること。これがサービスです。最初の 4 つ、親睦、高潔性、多様性、リーダーシップはロータリーが持っている特徴であります。困っている他の人にサービス(奉仕活動)をする、四つの特徴を使って我々はロータリアンとして奉仕活動をする。そして人を笑顔にする。これが奉仕なのです。奉仕とは定義するものではなく、笑顔でない人を笑顔にする言動、行動。人を笑顔にするには我々ロータリアンは、高潔性を持ち、多様性を受け入れられる寛容さを持ち、リーダーシップで問題を分析し企画しアクションを起こすこと。そのためには我々が笑顔でなくてはいけない。それが親睦ではないですか？親睦を通して我々が笑顔になり、その笑顔を持ったロータリアンがサービスをする。こういうプロセスだと思います。先程申し上げましたように奉仕、サービスというのは人が人に価値を与える言動・行動であります。それを受けた人がそのサービス、言行に対して感謝し、笑顔になること。これがサービスというプロセスだという風に理解しております。我々の企業も同じように考えます。サービスを持続可能にするには必ずそこに資金が必要になります。我々ビジネスにおいては価値を提供したお客様から笑顔をなってもらって対価を頂く。その対価で資材を購入し、社員に給料を払う。公共事業は住民の税金でサービスをしますが、公益事業、学校とか病院、例えば保護者から授業料を頂き、半分は補助金です。両方を頂いてその子供たちに笑顔を届け、子供たちを成長させることです。ではロータリーはどうかというと、会費と寄付ということになります。財団、日本ではそれ以外に米山記念

奨学会がありますが、それがロータリー活動の原点であります。ロータリーの職業奉仕は対価を目的としないというか、対価をもらうためにサービス、何かをするのではなくて人が笑顔になるために何かをして、人が笑顔になった時に対価(その笑顔)を頂く、これがロータリーの一番原点の職業奉仕、お金を頂くのではなくて人が笑顔になることをして、その人が笑顔になった時、それが対価であり、これが職業奉仕、四つのテストの原点ではないかと考えています。

◎地区の方針「真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう」とマイロータリーとは

先程のロータリーのブランド、価値、これを中核的価値といいます。ロータリーの持っているブランドを認識しましょう。そしてそれをロータリー活動や職業を通じて磨きましょう。そして人道的奉仕活動に参加して人を笑顔にしましょう。人が困っていたら人道的奉仕活動をもう一度ロータリアンと一緒にしましょう。どんな先進国であってもどんなに貧しい所であっても、どの地域であっても困っている人は沢山いらっしゃいます。ただ残念なのは、ロータリーはそういうことができると思っている人は少数派です。もう一つは NPO 法人、いわゆる非営利法人、今は 5 万 5 千ぐらいあります。ロータリーに行かなくても NPO 法人でもできる。しかし 5 万 5 千の中で事務局もなく、国際的にも何もない、組織はあるけれどスムーズに運営されていないところも多いと聞きます。それをお手伝いすることもロータリーの一つの役割ではないかと私は認識しています。仲間と一緒に奉仕活動をし、ロータリーのブランドを地域の人に伝え、新しいロータリアン、仲間を見つけましょう。すなわち自分自身が奉仕活動をして奉仕活動に地域の人を巻き込み、ロータリーはこんなことをやっているんです！じゃ一緒に入ってやりませんかという形の誘い、これが一番の原点でありロータリーの仲間を見つけよう、誰かを紹介して頂くより自分が本当の奉仕活動をしながらか仲間を作っていこうという意味です。これは地区のビジョンですが、今ジョン・ジャームさんは戦略ができたのでガバナーの仕事は、今年何かをするのではなくて、その地区が新しい組織、新しいイベントをする代わりに地区は持続的なことをしなさいというのが彼のテーマ、それがロータリーの戦略的ビジョンなのだと私は理解しています。今この地区は大変輝いています。国際奉仕、財団、米山、どの委員会を見ても大変皆さんが熱心にやっていたらっしゃいますし、委員として大変活躍して見えます。しかし地区も各クラブも 10 年後、20 年後を考えると、少子化であり高齢化している環境にある今、我々がしなければいけないことは、10 年後、20 年後に対して、今年のロータリーだけじゃなくてやらねばならないことがこれであります。一つはさっきのブランドですね。多くのロータリアンがロータリーのブランドを再認識する。それがマイロータリーにあるんです。ロータリーのやっていること全てを、ロータリーのブランドを 123 万人で共有しようよ。そして世界でいろんな奉仕活動をやっているのを 123 万

人で共有しようよ。それがマイロータリーです。残念ながら世界でまだ 26%、日本で 12%、この地区は 9%です。今、若い人たちはいろんなものから情報を得ます。もう 1 つ、ロータリーは今までやってきませんでした。新しいメディアを使ってロータリーって何だ、ロータリーというのは困っている人がいたら一緒になって笑顔にするんだよということを地域の人たちに是非伝えて頂きたいと思います。それがソーシャルメディア、フェイスブックなどを使ってやったらどうだろうかということでもあります。そして今年度各クラブさんの目標をマイロータリー登録率 50%、入会 3 年未満の登録率 100%とさせていただきました。因みに瀬戸北 RC は 7%、瀬戸 RC は 25%、尾張旭 RC は 18%、愛知長久手 RC は 20%の登録であります。是非これは将来のためにやって下さる様お願い申し上げます。各クラブさんはマイロータリーの登録、利用を促進する担当者を選任して下さい。スマホができてパソコンができる人をマイロータリアンとして選任して下さい。その人がクラブ内でマイロータリーの情報やニュースを紹介する。そしてフェイスブックなどのソーシャルメディアを使って地域の人々に伝える。その担当者（マイロータリアン）としてお願いしたいという意味であります。是非まだ選任されてみえなければ宜しく願います。公共イメージの向上：これはロータリーのやっている人道的奉仕活動を地域の人たちに知ってもらおう。もちろんソーシャルメディアだけじゃなく、先程会長が言われたように一緒に汗水を流す、一緒に他の組織と行動する、それらを含めてお願いしたいと思います。図にある 3 つの戦略は以下の通りです。まず人道的奉仕の重点化と増加：世界中に今、困っている人が多くいる、水がない、戦争と平和など財団として人道的奉仕活動をしようよ、ということです。2 番目はソーシャルメディアを使った公共イメージと認知度の向上：先ほどご説明しました。そしてクラブのサポートと奉仕活動の強化：もう一度クラブの中で社会奉仕活動をやっているならもっと多くの会員の参加を、もしやっていないなら新しい社会奉仕活動を起こして会長にお願いしてスタートする。これがクラブ活性化の一助となるのではないのでしょうか？ どういう尺度で人道的奉仕活動を測るのか？今までなかったのですが、R I が図のように決めました。奉仕の参加する人数×奉仕時間、これを上げることで社会奉仕活動や人道的奉仕活動が増えていくということです。それに寄付金、寄付物品がプラスされます、多くのことをして頂ければ、他のロータリークラブがそれを見て刺激になる、こんなことが RI のジョン・ジャーム会長がやろうとしていることであり、ロータリーがもっと輝くのではないか、それが人類に奉仕するロータリーだと私は個人的に考えております。今年の一つのテーマとしてこの地区でやっていきたいと思います。地区のホームページも改良しました。是非見て下さい。この四つのロータリーの皆さん方と一緒に笑顔で楽しく価値ある人道的奉仕活動を一緒に致しましょう。今日は誠にありがとうございました。

伊那RC・尾張旭RC交流納涼例会

日時：2016 年 8 月 27 日(土)

場所：かんてんパパガーデン 西ホール



伊那西高等学校
吹奏楽部の演奏



伊那 RC
藤澤秀敬会長の挨拶



尾張旭 RC
山田 直樹会長の挨拶



伊那RC・尾張旭RC合同ゴルフコンペ

日時：2016 年 8 月 28 日(日)

場所：信州伊那国際カントリークラブ

尾張旭 RC 優勝 山田 直樹君

準優勝 西尾 輝久君

3 位 江尻 輝久君

BB 賞 加藤 清久君

団体戦 優勝 伊那ロータリークラブ



伊那 RC13 名、尾張旭 RC7 名計 20 名の参加。